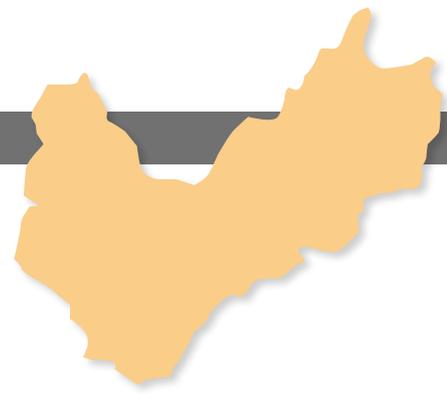




宮崎県

みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙



こんにちは 議会です。

no.75

平成26年5月15日号
発行/三股町議会



上米公園で楽しい花見

TOPICS
トピックス

- 3月定例会(3月5日~3月20日) ■ 町政を問う 一般質問(7名)
- シリーズ お隣さん元気(田上・梶山)

平成26年新年度予算

都城地域健康医療ゾーン整備事業 クリーンセンター整備事業 最新鋭の機器 防災行政無線整備事業



3月定例会

町議会では3月議会を、3月5日から3月20日までの16日間で開催した。今回の議会に上程された議案は29議案、陳情書1件、報告1件で、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し、審議した。議案の主なものは、条例の制定及び改正等11議案、26年度新年度予算及び25年度補正予算が13議案となっている。全ての議案が賛成多数及び全会一致で可決した。



施政方針表明

これまでの施策を継続発展し、三股町のカラー、良さをアピールできるまちづくりを目指す。
中心テーマ3点。

- ①「子育てと教育」として「まちづくりは人づくり。人づくりは教育から」との思いで、さらなる子育て環境、教育環境の整備・拡充に努める。
- ②「スポーツ環境の整備」は、イベントの充実・発展、そしてスポーツ施設の整備を計画的に実施したい。
- ③「災害対策の強化」は、町民の安全安心、信頼に答えるため、「常在危機」の覚悟で普段から備える。



まちづくり基本条例をふまえ、町民の皆様との交流・対話を重ね、真に町民が満足するまちづくりを推進する。

▶平成26年度の施政方針を述べる木佐貫町長

一般会計新年度予算96億円

平成26年度の歳入歳出予算額は、対前年度比4・8%、4億4千万円の増

歳入の主なもの	
町税	19億円
地方交付税	27億3千万円
国庫支出金	12億2千万円
県支出金	11億1千万円
町債	10億1千万円

歳出の主なもの

都城地域健康医療ゾーン整備事業	3億6千万円
クリーンセンター整備事業	2億7千万円
防災行政無線整備事業、町営のWiFiインターネットという最新鋭の機器導入を行う。	2億7千万円

条例／制定・改正・廃止

- 全会一致で可決
- 三股町電子計算組織に係る個人情報保護に関する条例の全部を改正する条例
 - 三股町税条例の一部を改正する条例
 - 三股町課設置条例の一部を改正する条例
 - 社会教育委員条例の一部を改正する条例
- 賛成多数で可決
- 三股町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
 - 三股町立文化会館の管理に関する条例の一部を改正する条例
 - 三股町立公園条例の一部を改正する条例

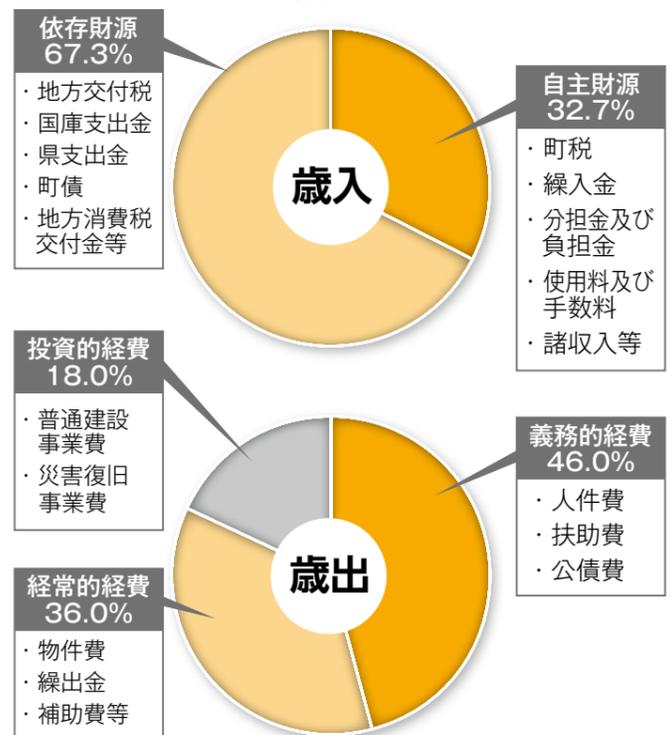


▶三股中学校 卒業式

平成26年度予算の総額

会計名	予算年度	26年度予算額	対前年度比
一般会計		96億4千万円	4.80%
国民健康保険事業会計		30億8千万円	△2.20%
後期高齢者保険事業会計		2億4千万円	10.50%
介護保険事業会計		20億4千万円	3.10%
介護保険サービス事業会計		1,223万円	△1.50%
梶山地区農業集落排水事業会計		4,970万円	15.90%
宮村南部地区業集落排水事業会計		3,724万円	△0.40%
公共下水道事業会計		4億4千万円	29.70%
特別会計合計		59億円	2.00%
水道事業会計		4億3千万円	10.40%
全会計合計		159億2千万円	3.90%

一般会計の内訳



人事案件

副町長選任議案に
全会一致で同意



新副町長
西村 尚彦氏

財産の処分について

賛成多数で可決

- 町有地（塚原団地跡地）面積 7621平方メートル
 - 売払い金額 6千570万円
 - 売払い相手 株式会社グリーン商事
 - 代表取締役 徳留 良弘
- （総括質疑で詳述）

都市市道の路線と町道の路線が重複する部分の道路の管理

町道蓼池北45号線と重複する部分の道路
全会一致で可決

指定管理者の指定について

三股町在宅
老人デイ・サービスセンター
指定管理者
社会福祉法人
三股町社会福祉協議会
全会一致で可決

平成25年度補正予算

一般会計	93億7千万円
国民健康保険特別会計	31億7千万円
介護保険特別会計	20億2千万円
公共下水道事業特別会計	3億6千万円
全会一致で可決	

ここが聞きたい



一般質問は7人。町長の政治姿勢、子育て支援や環境政策など三股町が抱える様々な問題について白熱した議論が展開された。

新年度のクローズアップ 主な事業を

保育園施設整備事業(3園)
わかば・稗田・ひまわり



3億2,000万円

上米公園パークゴルフ場
整備事業



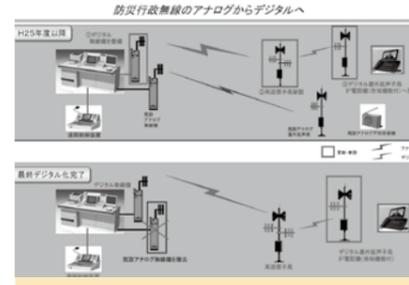
4,800万円

西部地区体育館
建設事業(設計費)



2,750万円

防災行政無線整備事業



2億7,700万円

番号制度構築事業



1,640万円

町史編さん事業



246万円

総括質疑の主なもの

① 公共料金の増税額は

消費税の増税で公共料金等の町民負担はどうなるのか。

答 使用料手数料関係は約53万円の増、水道関係1,082万円、下水道関係164万円。梶山・宮村農集排で55万円の増。

② 後期高齢者医療保険も増税か

問 後期高齢者医療保険の値上げ幅は所得割率が0・68ポイントの増、均等割2,900円の増。

③ 保育事業を重点施策に

問 保育事業の町単独負担、約6千万円は保育料の低減化につながっている。町の重点取組実施事業に入れない理由は。

答 みまた広報やホームページに掲載しているが、早速重点事業に入れていく。

④ 新ふるさと納税の対応は

問 ふるさと納税でプレミアム宮崎牛1頭分コースが新設されたが、配送の形態は。

答 事業者が対応する。送付先は一箇所とする。その他は希望に応じる。

⑤ 塚原団地跡地はどうなる

問 サッカー場としての検討は。

答 検討していない。サッカー場の広さは南北約92m、現地は約95m。後ろにバックネットを付けるとむずかしい。

答 宅地分譲すれば三股小の活性化にもつながるとの検討であった。サッカー場は今後検討する。

問 宅地にすれば何区画の家が立つ

答 予定か。20〜25戸ではないか。



▲ 塚原団地跡地

委員長報告の主なもの

総務厚生常任委員長報告

平成26年度国保会計予算審議にあたり賦課方式(所得割と人員割による賦課)で検討を要望。

3月議会一般質問

指宿 秋廣議員10p 掲載

- ① 郷土愛を育む施策を推進せよ
- ② 旧町立病院を返却させるべきでは
- ③ 公共施設への道路標識を

福永 廣文議員11p 掲載

- ① 児童館の建替えは可能なのか
- ② 中学校の規律の現状は

池田 克子議員12p 掲載

- ① 視覚障がい者や高齢者に「代読・代筆」の支援を
- ② 消防団員への手厚い処遇を

上西 祐子議員6p 掲載

- ① 国保税に対する町長の認識は
- ② 税等の滞納者に対する経過と効果は

池邊 美紀議員7p 掲載

- ① 子育て支援策を強化すべき
- ② 経済活性化対策を問う
- ③ フェイスブックの活用は
- ④ 太陽光発電の土地利用は

堀内 義郎議員8p 掲載

- ① くいまーの利便性を図れ
- ② ため池耐震診断の結果は
- ③ 施政方針を聞く

桑畑 浩三議員9p 掲載

- ① 町長選挙を控え、公約をどう認識するか
- ② 生ごみは資源、堆肥工場をつくれ

一般質問 池邊 美紀 議員



質問

子育て支援策を強化すべき

町長

特色ある施策を検討していく

要望 一貫教育を北郷町など現在すでに取り組んでいるところもあるので参考にしたい。取り組んでいただきたい。

問 県内には子育て支援金制度として、小学生がいる世帯に町内で使える金券を発行し、経済活

教育長 全国的に小1プロブレムなどの問題もあるので来年度からの幼保小連絡会を活用しより良い教育にとり組んでいきたい。

町長 過疎化が進んでおり園舎も築41年を経過している。児童館も築47年が経過、老朽化やトイレ汲み取りの状況なので検討していきたいが現段階では補助制度がない。

問 長田の保育所と小学校の一貫教育はできないか。

町長 小学3年まで無料化すると新たな財源が3、800万円必要になる。財源の確保が大きな問題であるが検討していきたい。

問 現在小学校入学までとしている医療費無料化の年齢の引き上げもしくは一部補助をすべきでは。

フェイスブックの活用は 努めていく。

町長 問合せはあるものの条件が整わなかった。今後も粘り強く誘致に努めていく。

問 企業誘致は働く場の確保であり地域経済の活性化になるが進捗状況は。

町長 具体的な提案なので、ブロックローテーションなども活用し前向きに取り組んでいきたい。

問 6次産業化を推進しているゴマを金ゴマに特化すれば三股町が日本一の金ゴマの生産地になりえるが、日本一を目指して取り組んでどうか。

町長 様々な取り組みがあることは承知している。子育て支援策として町の財政を考慮しながら、なにか有効で魅力的な検討していく。



▲ 金ゴマ

問 経済活性化対策は

町長 住宅建築可能な土地では有効活用の点から危惧されるところであるが、構築物に該当せず規制がでない状態。今後注視していく。

問 土地利用の制限を

町長 他自治体を参考にし町をPRしていきたい。

問 他の自治体を参考にしてもつと活用範囲を広げるべきではないか。

一般質問 上西 祐子 議員



質問

国保税に対する町長の認識は

町長

国に対して抜本的な制度改革を求めていく

問 国民健康保険は、「社会保障及び国民健康の向上」を目的とし国民に医療を保障しているもの。ところが今日では保険料が高すぎて生活に追い打ちをかけている。県の平均で所得100万以下の世帯は60%、そのうち所得なしが約30%となっている。町長は国保税についてどう認識しているのか。また本町での国保税がどのくらいアップされたのか。

町長 国民健康保険制度は、国民皆保険制度最後の砦と言われるように社会保険制度の中で重要な地位、役割を担っており、病气、けがをしたとき安心して医療機関にかかれるようにすることが私ども保険者に課せられた重要な責務であると認識している。

国民健康保険は、高齢者や相対的に所得の低い方が多いという構造的問題を抱えており、これまでも全国町村会等を通じ抜本的な制度見直しと、財政基盤の充実強化をするための国による財政措置を講ずるよう要望している。

国保加入者の所得水準からすれば保険料負担は限界に到達しつつあると認識している。

町民保健課長 150万円の所得、4人家族、固定資産税5万円のモデル世帯と比較すると10年前は保険料が24万9、700円、昨年は36万300円で11万6000円のアップとなっている。(この場合の所得は、総所得500万円程度の方です。)

問 国保税には法定減免と一般会計からの繰入を行う法定外繰入れ制度があります。県内では21年度2自治体、22年度4自治体、23年度10自治体、一般会計から法定外支出をしている。本町でも、これ以上町民の負担を増加させないために一般会計からの繰入れを行う努力をして頂きたい、と思うが町長の考えは。

町長 国保税の県平均が9万9千円、本町は9万7千円なので、今のところは国保会計の中で基金取り崩しなどやりながら努力したい。

町長 本町では25年度税滞納者に対して差し押さえをやり、競売をされたが、本当に悪質な滞納者だけに差し押さえを行なったのか。



▲ 健康管理センター/すくすく教室



設置し、税や使用料等の滞納者に対し、各課連携し解消に取り組んでいる。これは支払い能力があるにも係わらず税、料金等納付しない住民に対して行なっている。

資力がなく納付が困難な方や、生活困窮者に対しては、納税相談等を実施し、分割納付や執行停止徴収猶予、災害などにあつた場合は延滞金の減免を行なっている。

一般質問 桑畑 浩三 議員



質問

公約とは何か

町長

公約を守って真摯に実行している

役場の仕事は五つである。総務、福祉、教育、産業、町づくりの系統である。それぞれの系統で実現すべ...

町長 選挙で掲げたマニフェストつまり公約として5つのプロジェクト、10の町づくり、そして具体的に54項目を列挙し実現することが、次への町の飛躍に繋がると思い、真摯に取り組んできた。

最近、公約は守らなくてもよいという風潮がある。民主党は「天下りの白アリ退治なくして、消費税の引き上げなし」と公約して、選挙で大勝して政権を取ったが、党首がこれを見事に裏切って、国民の信を失って自滅した。また、自民党はTPP反対を唱えたが、政権を取るやこれに参加し、推進役を...

町の仕事とは大きく分けていくつあると思うか。

町長 次の選挙では明確な目標を打ち立てて、町民にわかりやすいスタンスで、整理して、皆さんの理解を得たいと思う。

最大限綱領というのは、町長が目指そうと思う町の理想の姿、最小限綱領というのは、その実現にむけて自分に与えられた任期の中で、ここまでは実行するという公約のことだ。



▲ 建設中のクリーンセンター

山田に作ったが、運ぶ経費が増える。水を含んでいる重い家庭残滓は資源だ。ゴミの減量化の意味からも三股に堆肥工場をつくらうだろうか。

堆肥工場をつくれ

町長 クリーンセンターの事業で都城へは今いくらの金を支払っているか。

環境水道課長 今トータルで2億8千万円かかっている。

燃えるゴミの持ち込み料はゴミの重さである。今度クリーンセンターを三股から一番遠い

一般質問 堀内 義郎 議員



質問

くいまーるの利便性を図れ

町長

誰もが利用しやすい運行に努める

生活支援コースで、交通弱者といわれる高齢者が、年々増加している。見直しによって他の路線に影響があるかもしれないので、地区全体の要望として対応していく。

通学支援コースで中学校、宮村小は、中学生の部活後の利用がほとんどない。この地域は徒歩・自転車通学の境界であり、新興住宅地帯でもある。変更によって、利用したいとの要望があり増が見込めるが、見直せるのか。

高齢者には買い物や通院の移動手段として、中学生には安全な通学手段として定着しており、利用者は少しずつ増加している。利便性を図るため、まずは地区全体の要望を基本とし総合的に判断しており、今後も地域住民の足として、運行に関する積極的な要望・意見をお聞きしていく。

くいまーるの運行で、通学支援・生活支援コースがあるが、町民の足として更なる利便性が図れないか。

町長 末の29・30日までは病院が開いているので、利用したいとの声を聞く。運行することができるとのことか。

ため池から引いている用水路やパイプラインも老朽化し痛みも激しい。今後もブロックローテーションを続け、商品価値の高い売れる米づくりに取り組むうえ検討していく。

ため池から引いている用水路やパイプラインも老朽化し痛みも激しい。今後もブロックローテーションを続け、商品価値の高い売れる米づくりに取り組むうえ検討していく。

第2地区内にあるため池で、宮田池・前山池・堂領池は近くに人家がある。地震による堤防決壊で災害発生への心配があるが、耐震診断結果はどうであったか。

総務課長 今まで検討したことがなかったが、今後このようなご意見があれば検討したい。

ため池耐震診断の結果は



▲ 三股駅100周年 / くいまーるにスケッチ

産業振興課長 産業振興課長 均一な堆肥を作り、商品として流通されることをクリア出来なければ財政負担が大きい。

新たな観光資源としての活用とあるが、具体的な構想はあるのか。たとえば、上米公園内の生活環境保全林の活用は。

産業振興課長 軽微な改修については、土地改良区や各地区の農地・水保全団体に管理をお願いしている。大規模な改修等については、国・県の事業を導入し取り組みたい。

施政方針を聞く

一般質問 福永 廣文 議員



質問

町内、各児童館の建て替えは可能なのか

福祉課長

補助事業でそれぞれ改修工事をしているので現時点では無理である

問 児童館の設置については、当時の大河内町長の考えで公民館兼用の目的で、建てられたと聞いているが、この児童館も建替えの時期にきているのではないか。

福祉課長 今市、宮村、上米等の5ヶ所が自治公民館としても利用されている。県内の設置、活用状況であるが、本町以外の総数は64館であり、その活用方法はほとんど、児童館専ら用施設である。

問 児童館の現在の活用状況はどうなっているのか。

福祉課長 町内には現在10箇所の児童館が有る。最も古いのが、昭和41年建設の植木児童館で、最も新しいのが、上米児童館で昭和50年建設である。それぞれの児童館が築後32年から47年が経過している。

平成17年に今市と東原、18年に宮村と上米、20年に新馬場、21年に蓼池、22年に植木の各児童館を補助事業で改修している。

問 町内には、各所に児童館があるが、その建築後の経過年数は何年ぐらいか。

福祉課長 町内には現在10箇所の児童館が有る。最も古いのが、昭和41年建設の植木児童館で、最も新しいのが、上米児童館で昭和50年建設である。それぞれの児童館が築後32年から47年が経過している。

問 児童館の設置については、当時の大河内町長の考えで公民館兼用の目的で、建てられたと聞いているが、この児童館も建替えの時期にきているのではないか。

福祉課長 今市、宮村、上米等の5ヶ所が自治公民館としても利用されている。県内の設置、活用状況であるが、本町以外の総数は64館であり、その活用方法はほとんど、児童館専ら用施設である。

問 児童館の現在の活用状況はどうなっているのか。

福祉課長 町内には現在10箇所の児童館が有る。最も古いのが、昭和41年建設の植木児童館で、最も新しいのが、上米児童館で昭和50年建設である。それぞれの児童館が築後32年から47年が経過している。

平成17年に今市と東原、18年に宮村と上米、20年に新馬場、21年に蓼池、22年に植木の各児童館を補助事業で改修している。

問 町内には、各所に児童館があるが、その建築後の経過年数は何年ぐらいか。

福祉課長 町内には現在10箇所の児童館が有る。最も古いのが、昭和41年建設の植木児童館で、最も新しいのが、上米児童館で昭和50年建設である。それぞれの児童館が築後32年から47年が経過している。



▲ 蓼池児童館



さらに子供達が落ち着いて生活し学習できる環境をつくるため、毎月1回全小中学校を対象として生徒指導や特別支援教育に関するサポート訪問を行っている。

一般質問 指宿 秋廣 議員



質問

郷土愛を育むための施策を推進せよ

町長

町政施行 70 周年に向けて、三股町史の改定に取り組む

町長 梶山城跡は、大学の先生も価値が高いと評価されている。本町としては今後も史跡として、地権者と協議を行い、70周年記念事業の一つとして、保存、これからの在り方について検討したい。

問 新聞報道によると、梶山城跡から手榴弾が見つかったとの報道があったが、現地は開発行為がなされているのではないか。もしそうであるならば、早急に保存のための行動をするべきではないか。

教育長 今回は30年前に刊行されたものや、都城市が調査・研究して刊行している、都城の歴史書を参考にしながら改定をする。

問 今回、町史編さん事業で246万円が計上してある。平成30年の町政70周年記念事業の一環として、三股町史の編さん・刊行を行い、現代に至るまでの本町の歴史を学術的に明らかにして、町民の郷土に対する理解を深める、との説明であるが、平成30年に向けて改めて調査を一から行うのか。

問 文化会館や元気の杜に行くには、道路標識が少なく、ま

公共施設への道路標識を

文化会館や元気の杜に行くには、道路標識が少なく、ま

問 敬和会が、契約事項を順守していないので、町が再び買い戻して他の利用方法を検討するべきではないか。

町長 譲渡した時に病院経営をしていたので、町との契約違反には当たらないとの弁護士からの見解がありました。敬和会の今後の推移を見守りたい。

問 旧町立病院は、病院事業を継承することが売却の重要な条件で、戸嶋病院へ譲渡したが現在閉院した状態である。譲渡の条件を満たしていないので、町へ返却をさせるべきではないか。

旧町立病院の返却を



▲ 旧三股町立病院

地域政策室長 調査をしたところ、三股運送から都万道路へ向かう道路の左側に1ヶ所、給食センター近くのセブンイレブンの西側に1ヶ所、そしてそれぞれの建物の入り口に1ヶ所の合計3ヶ所でした。特に、町の東側や北側から本町に入る場合と、都三道路西側から町に入る場合は標識も無い。また電話での説明も非常に解りにくい。今後、道路標識の必要性は感じているので検討を行いたい。

視察研修報告

柳川市広報編集特別委員会視察研修

歓迎



▲柳川市議と広報委員

④議会状況をネット配信していないのか。
計画はあったが、様々な理由により、まだ実現していない。

③全世界に広報は配布されているのか。
自治会未加入者の配布はしていない。役場窓口での配布のみ。

②追跡レポートの企画は。
議員の一般質問の結果を確認して新しいものを掲載している。

①一般質問の1ページ対応と原稿の校正は。
最初から1人1ページで対応。1日がかりで校正をしている。

柳川市より総勢8名、当方7名での意見交換会。柳川市では「議会だよりやながわ」を発刊。（現在27号）内容充実を目指して研修を重ねている。

福岡県柳川市と広報編集について研修・交流

質問事項

柳川市より総勢8名、当方7名での意見交換会。柳川市では「議会だよりやながわ」を発刊。（現在27号）内容充実を目指して研修を重ねている。

総務厚生常任委員会視察研修

③商店街の再生による魅力あるまちづくり。
②安心、安全住み良いまちづくり。
①賑わいと回遊性のあるまちづくり。
基本コンセプトは「清流に笑顔がcaよう小京都中村」そして、3つの柱、

この四万十市3万5千人の人口に対し、飲食業の数の多さにびっくりした。その数なんと300件ほどあるとのことだ。

船頭の説明に川の魅力、迫力、観光の意気込みを感じた。



▲中村商工会での説明

市庁舎は、四万十川の洪水の場合避難所となる。四万十川の川下り体験し、

平成26年1月28日から30日に高知県四万十市中村商工会議所と、四万十町役場の研修に行ってきた。

四万十市は、平成17年に中村市と西土佐村が合併し人口約3万5千の市として誕生。

高知県四万十市中村商工会議所／四万十町研修（1月28～30日）

最後にタレントの高知県出身の広末涼子さんが、観光大使となって高知県に暮らす移住キャンペーンとして「高知家」として宣伝を県内でしていた。

今回の研修でこの市、町とも合併をしたけどまず、人口が伸びず大変苦勞している。観光面でも、宿泊が少なく、四万十川を利用するアイデアを行政、団体、市民、町民が一体で取り組んでいるのを感じた。

この3つに惹かれるものがあった。四万十町は、平成18年に2町2村で合併し、人口1万8千の町として誕生。現在建設中の庁舎は、JR窪川駅を中心に東館、西館が作られていた。



▲建設中の四万十町庁舎



▲観光キャンペーン用のバッジ

一般質問 池田 克子 議員

質問

視覚障がい者や高齢者に「代読・代筆」の支援を



福祉課長

傾聴ボランティアの方が協力できないか、検討する

日常生活を送るうえで「読むこと」と自己の意思を表すための「書くこと」は必要不可欠の行為である。しかし、視覚障がい者や視力が低下した高齢者などは、これが十分に保障されていない。公文書の書体は。

福祉課長 当町の視覚障がい者の方は全員家族が伝達している。高齢者の方へは一部小文字の場合もあるが当課への要望、苦情はない。

問 平成23年に「障害者基本法」が改正された。その条項の中に、意思疎通を仲介する者の養成及び派遣の規定がある。今、策定中の「三股町総合福祉計画」にも盛り込まれるのか。

福祉課長 社会参加に向けた自立生活活への支援として5項目を掲げ、その中に手話通訳やガイドヘルパーへの育成を入れている。

問 高齢化が進む中、視覚障がい者だけでなく文字を読んだり書いたりすることが困難な人が増えている昨今であれば「代読・代筆」できる情報支援員の養成を早急

に取り組むべきではないか。

福祉課長 今まで、そのような要望等はない。今後の状況を見て判断していく。

問 昨年の4月に「障害者総合支援法」が施行された。その実施要綱にも自治体が行う支援の一つとして「代読や代筆」が明記されている。当町の「地域福祉計画」の中に地域福祉のネットワーク体制の確立をめざすとある。これらを活かさないか。

福祉課長 傾聴ボランティアの方々に支援員の講習を受けていただいで対応する方法も検討していく。

消防団員に手厚い処遇を

問 昨年12月に消防団を支援する「地域防災力充実強化法」が施行された。同法は、消防団を「未来にわたり地域防災力の中核として欠くことができない代替性のない存在」と定義している。団員の処遇として年間総支給額は交付税措置額の何%か。

総務課長 報酬が136%、手当

が105%

問 国会の予算で退職報償金が全階級で一律5万円引き上げられた。当町の予定は。

総務課長 新年度より一律5万円引き上げる。

問 全国的に団員数の減少が顕著である。今年度の退職予定者数とその補充対策は。

総務課長 退職者は20人の予定。各部で対応しているが、職員の加入促進も取り組んでいる。

問 消防団員に地域の防災リーダーとしての育成を。

総務課長 県消防学校の普通科等に入校し研修を行っている。



▲新入団員辞令交付式(平成26年度)

第十回

追跡

レポート



フェイスブックの開設について

行政のフェイスブックを立ち上げて、活用すべきではないか。

平成 25 年 6 月定例議会 一般質問

町長答弁

三股町のフェイスブックを立ち上げたい。

こうなりました



平成 25 年 10 月 / フェイスブック

個人情報のありかたについて

民生委員・公民館長に対して、行政から地区住民の情報提供は出来ないか。

平成 24 年 6 月定例議会 一般質問

町長答弁

三股町電子計算組織に関わる個人情報の保護に関する条例について、見直しを検討したい。

こうなりました



三股町個人情報保護条例
平成 26 年 4 月制定
三股町のホームページ(公式サイト)から閲覧することができます。



土日利用できる新サービス
みまたん元気の湯



料金 1 回 200 円
休憩室は無料
町民 65 才以上の方限定のサービスです。
お待ちしております。
(元気の杜内)

議会事務局からのお知らせ
6 月議会
(6 月 9 日からの予定)
町民の方の多くの議会傍聴をお待ちしております。
議会報告会
(10 月に開催予定)
今年も、議会報告会を昨年とは異なる形で企画しております。

女性 4 団体からの傍聴感想



商工会女性部 部長
岩崎 てつ子さん

以前から議会の傍聴に行き、仕事にも関係ある議題もあり、重要視しているところでもあります。
以前議員の声が聞きにくいと話をしたところ、放送設備において配慮していただいたことを思い出しました。
商工会役員でもある議員には、商工会会員にとって心強く、傍聴席から町行政への関心を寄せているところであります。



女性団体連絡協議会 会長
森 秋生さん

私達の議会傍聴は、10 数年前から取り組んでいます。
「男女共同参画社会」としての私達の活動の第一歩は、議会傍聴から始めました。それは、町行政施策の議論、討論を直接聞くことができるからです。
議会にあっても「男女共同参画社会」についての議論、討議を真剣にやってもらいたいと考えています。



竹の子 代表
谷口 トシ子さん

竹の子は、勝岡地区で集まり、踊りなどを練習している会です。いろんなものに取り組んでいます。議会の傍聴もその一つです。
一般質問初日は都合がつかず、今回、議会一般質問の 2 日目に行きました。その時の傍聴者は、少ないなと思いました。興味のある議題には、ぜひ傍聴に行きたいと思えます。



体操クラブ 代表
山内 伶子さん

体操クラブでは、議会の一般質問を会員皆さんに紹介しながら、興味あるテーマの時には皆で傍聴に行くことにしています。
高齢になると耳が遠くなり議会傍聴が億劫になります。演台から話されるときは聞きやすいのですが、質問席で背を向けられると聞きづらいものです。
議会傍聴には、できるだけ行こうと思えます。

※聞き取りにより掲載



▲ 女性の農業委員登用に関する要請を北諸県地区農村女性連携会議の代表の方から受ける議長



▲ 水路沿い芝桜を植える、蓼池地区の方々

お隣さん、元気

つながりを知る

田上 自治公民館



本村 信雄 館長

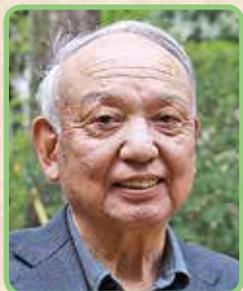


田上自治公民館は…

地区民は温情身あふれた良い方ばかり。公民館の活動にも地区民の協力が得られ、大変頼もしい地域です。



梶山 自治公民館



後藤田 壽司 館長



梶山自治公民館は…

自治の精神を大切に、地域の皆さんと一緒に、地域を元気にするために地域全体で力をあわせて頑張っています。



自治公民館を中心に、子ども会、壮年会、地域活動クラブなど、きっと活躍できる場所があります。隣近所の方々との親睦で、安心できる住みよい街にしましょう。

自治公民館加入案内
三股町・三股町自治公民館連絡協議会
電話 52-1111 内線 181



編集後記

春はあけぼの、ようようとして：夜明け前、東の空に輝く金星が美しい季節となり、上米公園の桜も平年通り開花した。

春と言えば別れと出会いの季節である。当局においては、副町長は県からの出向が終わり退任され、都市整備課長は約40年の勤務が終わっての退職であった。2人とも花見で賑わった上米公園にはそれぞれ思い出がある。副町長は、地元の壮年会員として祈念行事の中で、満開の桜の下で踊られ親しまれた。課長は、公園の整備や桜の手入れに尽力された。そして、今年も別れを惜しむかのように、いや新しい門出を祝うかのように咲き誇った。

議会広報編集常任委員会



委員長 堀内 義郎
副委員長 池田 克子
委員 福永 廣文
委員 佐澤 靖彦